

「親の学習」プログラム

2-5

地域とのかかわりってなに？

「子育て」を取り巻くさまざまな支援があるということは何となく知っていても、どこでどのようなサービスを行っているかは意外に知られていません。

子育てに悩んだ時、迷った時、家族からの援助、以前からの友人からの援助は非常に有用ですが、それ以外に地域にはどのような役割があるのかを考えてみましょう。

「子育て」について、肩の力を抜いて考えてみましょう。

ワーク
1

あなたは、子育てに関連するつぎのことで悩んだ時には、誰に相談したら（聞いてみたら）よいと思いますか？

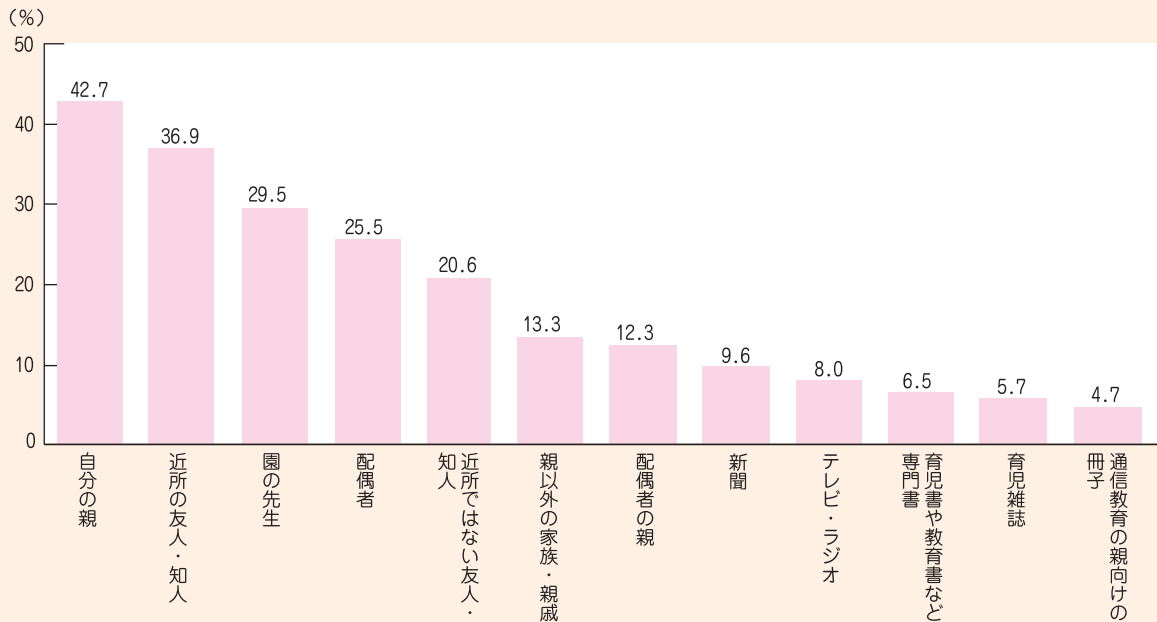
- ①子どもの病気のこと
- ②子どもの行動や言葉の発達のこと
- ③子どもにどう接すればよいのかと迷ったとき
- ④子どもの勉強のこと
- ⑤子どもの学校生活のこと
- ⑥子どもの進路のこと
- ⑦子どもの反抗的な態度
- ⑧いじめや不登校
- ⑨子どもが悩んでいる（悩んでいそうな）こと
- ⑩子育てのストレス

ワーク
2

次の資料を見て、気づいたことをメモしてみましょう。

資料

とくに信頼するしつけ・教育の情報源



注1) サンプル数は3,477人。

注2) 20項目のなかから、とくに信頼している人やものを3つまで選択。20項目中上位12項目を図示した。

ベネッセ教育開発研究センター 平成15年 第2回子育て生活基本調査 幼児版

資料

相談者・相談機関など

市町村

- 各市町村の保健センター
- 各市町村の児童福祉担当課・各市の家庭児童相談室
子育てなど、子どもについての相談に応じています。
- 子育て支援センター

地域における子育て支援の中核的施設である保育所に設置された「子育て支援センター」では、子育てに関する不安や負担感を解消のための相談や情報提供などを行っています。

身近な相談者・相談機関

地域には、子育ての悩みなど身近に相談できる児童委員（民生委員と兼務）、主任児童委員、母子愛育班員などがいます。

- 児童委員（民生委員と兼務）、主任児童委員

児童委員（民生委員と兼務）は、担当する地域の子どもと妊産婦の福祉に関し、相談に応じる



とともに、県福祉保健総合センターや福祉事務所、児童相談所と連携を図り、次のような仕事をしています。

- ・担当地域の子どもに関する状況の把握
- ・保護や指導を必要とする子どもの発見・通告、子どもとその家庭の調査・指導
- ・里親制度のPR、里親申込希望者の発見
- ・子ども会など児童健全育成活動への援助

主任児童委員は、子どもに関する事項を専門的に担当し、地域を担当する児童委員と一体となって活動します。

児童委員、主任児童委員には守秘義務が課せられていますので、相談の秘密は守られます。

●母子愛育班員

愛育班活動とは、健康づくりを目標にした住民自身による活動です。

妊産婦、乳幼児死亡の減少を目標に地域ぐるみで取り組んだ活動から、現在は、地域に住むすべての人を対象にして、健康で住みよいまちづくりを目指し、行政とともに訪問活動などを展開しています。その活動する人を母子愛育班員と言います。

なお、母子愛育班員は、活動の中で知った個人や家庭の事情を、他の人に話しません。

①知っていたこと

②あらためて知ったこと

**ワーク
3**

あなたにとっての「地域」のイメージをメモしてみましょう。

①よいと思えるところ

②あまりよくないと思えるところ

③「公園デビュー」や「公民館デビュー」という言葉を聞いたことがありますか？

(は い ・ いいえ)

④「公園デビュー」や「公民館デビュー」のよいと思えるところとあまりよくないと思えるところ

⑤あなたの場合は、どのように地域とつきあっていこうと思いますか？

⑥地域に対して、自分（あなた）が何か力を貸すことができそうなことはありますか？

あなたのまわりに、同級生や同じ年くらいの子どもはいますか？ もしかしたら、その子の保護者も同じようなことが気になったり、悩んだりしているかもしれません。

ふりかえり

皆さんの意見を聞いてどう思いましたか。今日の感想を書いてみましょう。